

Ⅲ. 追手門学院中・高等学校

1. 当年度の重点方針

学院教育理念「独立自彊・社会有為」に基づく教育実践をさらに推進する。「自律・協同・創造」の精神を有し、「社会に貢献する」人財の育成を目標とし、「進進プロジェクト」（進学＋進路）を基軸とした教育活動を展開する。

- ・人口減少、長引く経済不況、また厳しい競争環境において生徒募集を安定的に確保する。そのために募集・広報活動をさらに強化するとともに、方策を重点的に検討する。
- ・さらに大学進学実績の向上、また、中・高全学年コースの学習数値目標の達成に努める。そのために中・高の学習システムの充実化、および教員の教育力の向上を図る。

2. 主な事業計画

(1) 教育事業の推進

- ・「教育理念」に基づく教育実践

学院教育理念「独立自彊・社会有為」の人財育成を目標として、中学1年から高校3年までの成長段階に相応する、学年レベルまた教科レベルでの「実践シラバス」を作成する。殊に「自校教育」「心の教育」について検討し、実践化を図る。

- ・中学・高校「学習システム」の充実

高校新「コース」制に伴う「学習システム」を整備し充実を図る。また中学の「学習システム」を点検し、殊に成績「上位」層に対しての学習を強化する。

- ・「国際教育」・「情報教育」・「理系」教育の重点強化

社会状況の変動に対応するため、特に「国際教育」・「情報教育」・「理系」教育について研究を深め、学習プログラム化に努める。

(2) ガンバ大阪「ユース」メンバーの受け入れと「追大授業（コース）」の設置

- ・ガンバ「ユース」メンバーの受け入れ

受け入れに伴う「課題」について検討し、教育環境を整える。また「スポーツ」についての理解を深め、学校教育におけるスポーツの有意義性を研究し、位置づける。

- ・「スポーツコース（クラス）」の新設に向けての取り組み

ガンバ大阪「ユース」メンバーの受け入れを契機として、「スポーツコース（クラス）」を新設する。コース内容・教育内容などについて研究・調査・準備し、取り組む。

- ・「追大授業（コース）」の設置

高大連携の一環として、高 3 の一部授業を追手門学院大学関係の講師が担当する。
今後、キャリア教育について研究を深め、展開を図る。

(3) 「学校評価」「教員評価」「研修制度」の三位一体的充実を図る

- ・「学校評価」のフィードバックによる「学校力」の向上

2010 年度「学校評価」を踏まえ、2011 年度の「学校目標」を立案、達成に向けて検討、組織的に実践する。

- ・「評価処遇」制度の構築を図る

教員の育成、評価、処遇を連動し、教育力・組織力の向上を図る「総合的人事制度」の充実に取り組む。

- ・「研修制度」の充実

教員各人の「教育力」を向上し、意欲的な「教育活動」の実現と創造的な「組織力」の向上を図るための「研修制度」を充実する。

(4) 「将来構想・計画」の検討と「キャンパス整備」事業

中長期プロジェクト委員会を中心にして、大きく変動する社会状況や中・高を取り巻く競争環境を考慮し、目指すべき学校像・目指すべき教育を明確にしていく取り組みを行う。また並行して、中・高教育ビジョンによるキャンパス整備事業を進める。

(5) 「設備」・「リスク管理」面の充実

- ・「設備」の充実

「第 2 自主学习室」の設置および教室棟の「交流スペース」・「展示スペース」の設備を充実し、活用を図る。また学校「ホームページ」を改訂し、活用する。

- ・「リスク管理」面の充実

「熱中症」対策、および防火・防災面、また防犯その他、リスク管理面に細心の注意をもって努める。